

第3回

東京シニアビジネスグランプリ



新しい道がある
55歳からの挑戦

厳しい審査を勝ち抜いたファイナリスト10名による
プレゼンテーション

10人のファイナリストをご紹介します

第3回 東京シニアビジネスグランプリ

01 早く買うほどトクをする。早期購入者応援システム

岸正さん

■ プラン内容

新しい付加価値がついたネット通販のサービスです。購入順位により価格が変わる独自の仕組みで、「早期購入者」を応援する、新しい形のECサイトを提案します。すなわち、「早く買うほど安くなる」通販サービスです。このサービスは、単なる安売りサイトではなく、「レビューや、購入後の値下げを恐れることなく」早期に購入した【勇敢な顧客】に対して、相応の恩恵（返金）を与えることができる仕組みを備えています。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

多くの場合、商品の価格はあとになると下がります。またネットでは、商品のレビューで、容易に評判を知ることができます。商品は、あとに買うほうがメリットが多いのが現状です。でも本当に恩恵を受けるべきは、商品の評判や購入後の値下げを恐れることなく、自分の価値観で購入する「早期購入者」ではないでしょうか。私は商品を、早く買って後悔しない仕組みで、買い物自体を楽しめる商習慣を提案したいと思い、創業しました。



Profile

キャラクタービジネスの大手企業で30年以上勤務。定年後、かねてより考えていたアイデアを実現するために起業。在職中は、販売促進、マーケティング、メディア関連の業務で、価格構造、購買心理などを研究しながら、販促施策の企画立案をマネジメント。

02 日本文化のZ世代継承で豊かな日本を創生

朝岡正裕さん

■ プラン内容

南魚沼の古民家を中心に、地方と都会、日本と世界、Z/α世代とW/X世代の交流で、豊かな日本再発見と継承を実現。民泊、地域体験型スタディ・ツアー（米作・養鯉・狩猟など）、サブスク型物販（米・錦鯉・ジビエなど）を組合せ、宿泊DX・MaaS、農業・養鯉DXの導入とふるさと納税制度で顧客体験価値を最大化しつつ、地域課題（少子化・雇用）解決を目指します。STEP2で地元木材を利活用しバイオマス発電事業に着手。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

やりたいこと・できること・必要とされること、の3つが重なったタイミングが今。30年間の会社生活で培った人的資本や経営・事業経験を活かし、20年来ご縁のある新潟南魚沼の地域課題解決と都会やグローバル市場・次世代のUX最大化の同時実現をしたい。権力による覇権主義と金融資本主義の中、コロナ危機・価格高騰・不安定な為替相場で希望が持てない。テクノバートによる経済再生vs脱成長とは別の日本独自の道を模索したい。



Profile

インフラ企業勤務で、物流子会社社長、企画部門長、事業開発部門長を歴任。500名以上の人脈を保有。家族で新潟南魚沼に2年間暮らし、20年間、米作り・養鯉・古民家再生に関わり地元関係資産が豊富。通訳案内士としてインバウンドの観光案内を多く経験。

03

ペンとノートで誰でもお手軽STEAM教育

中村 健司 さん

■ プラン内容

弊社の商品は、独自フレームワークによるSTEAM教育の講座と学習帳。
プログラミング教育市場は、2022年200億円、2030年1000億円に拡大予測。
弊社のターゲットは、小学3年生から中学3年生の700万人。
教育界に実績のない弊社のマーケティング戦略は、①既存のロボット・プログラミング教室と連携した特別講座開講。②日本STEM教育学会の正学会員として、論文発表。③産学連携で教育機関と共同研究。研究費は助成金やコンテスト賞金で充当。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

2019年、企業向け業務改善教育の事業化を検討しましたが、中小企業にニーズはありませんでした。世の中では、未来のICT共存社会を生き抜く能力の育成としてSTEAM教育が注目され、2020年に小学校でプログラミング教育が必修化となりました。弊社の業務改善教育とSTEAM教育は、どちらも同じ問題解決型教育であり、私が発明した業務フロー自動生成の特許から生み出した学習帳とフレームワークの学習で、2020年、子供向けSTEAM教育事業のケントフローを設立しました。



Profile

下町の家具職人の父から「将来は技術者に」と育てられ、理工系大学卒業後、富士通で30年、技術調査会社で10年、ICTエンジニアとして従事。ロボットとプログラミング教室の講師も兼務。東京シニアビジネスグランプリは、3度目の挑戦で念願のファイナリストとなる。

04

振袖からのファーフリー宣言

丸山 恭子 さん

■ プラン内容

「動物と環境を守る」をコンセプトに、日本製の振袖用エコファーショールを製造販売します。毛皮製品の背景には、劣悪な飼育環境や毛皮の剥がし方、後れている日本の動物福祉の問題などがあります。単なるエコファーショールの販売だけではなく、振袖用のショールがあるからこそ問題意識を持つ機会になるのではないかと考え、「振袖からのファーフリー宣言」「振袖からのアニマルフリー宣言」と共に発信し、動物福祉の認知とファーフリーの世の中を目指します。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

動物福祉の観点から娘の振袖のショール選びに悩んだ事をママ友に話すと「私も悩んだ、いいエコファーショールがあれば欲しかった」と言われたことがきっかけでした。日本の成人式では今でも多くの毛皮のショールが着用されているため、これから未来を創っていく若者たちに、当社のエコファーショールを入口にして「ファッションのために動物を犠牲にしない、アニマルウェルフェアに配慮した世の中を作ってほしい」との願いを込め、創業を決めました。



Profile

専業主婦として介護と子育てが中心の26年間を経て6年前に社会復帰。50歳を過ぎて働く楽しさを知る。この事業に出会い、経験不足を克服すべくTOKYO創業ステーションに通い詰め、オンラインセミナーを100回以上視聴、事業計画書は50回以上作り直し、起業に至る。

10人のファイナリストをご紹介します

第3回 東京シニアビジネスグランプリ

05

立体感で閲覧意欲を喚起するウェブサービス

宇佐美 真 さん

■ プラン内容

企業やECなどのウェブサイトにおいて、直感的かつ楽しい閲覧を提供するサービスです。スマホなど2次元平面のディスプレイ上においても、立体感の演出および、空間の中身が透けて見えることから閲覧者の興味を誘発する立体サムネイルを開発。また各サムネイル間を瞬間移動できるユーザーインターフェースにより、閲覧者がイライラすることなく直感性から目的の情報に楽しみながら到達できる仕組みを提供します。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

30歳代にアメリカ赴任していた頃、多くの起業家、CEOと話す機会があり、自分も起業したいと確信しました。その後、修行のつもりで大企業からベンチャー企業に転職しましたが、そこではある種の挫折を感じました。50歳代半ばを過ぎた頃、当時勤めていた大企業より早期希望退職の募集がありました。プロジェクト推進中の仲間には大変申し訳ないと思いつつも絶好のチャンスと思い起業しました。



Profile

大卒後、ソニーにて20年間画像関連の技術開発に携わる。QDレーザ社にて創業からの立ち上げ、リコーにてシニアマネジメントとしてVRカメラ事業を経験し、2021年独立。AR、VR等のコンサル事業を始め、2022年7月法人化。現在、自社サービスを立上げ中。博士(工学)取得。

06

専門職を対象にした在宅医療機器の研修事業

中田 満 さん

■ プラン内容

在宅医療に従事する全ての専門職を対象に、医療職コース（医師・看護師・リハビリ職・薬剤師・他）と介護職コース（管理者・介護職・ケアマネージャー・福祉職・他）に分け、全日制で学習定着率の高い体験型研修を実施します。

医療／介護現場でよく目にする在宅医療機器（酸素・人工呼吸器・輸液ポンプ・CVポート・腹膜透析・自己調節鎮痛法・持続血糖測定器・吸引器・他）の基本的な技量（知識・手技）の習得を目指します。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

在宅医療の急速な普及とともに、医療依存度の高い患者が使用する在宅医療機器が急増中です。しかし医療機器を管理・点検・使用する専門職の間で技量の格差が生じ、重大な医療事故につながるヒヤリハットが増えており、安全性の確保が懸念されています。私はこの現状に危機感を感じ、在宅医療の実務経験や、がんの闘病で酸素・人工呼吸器・輸液・PCA・血糖測定器・吸引器などを実際に使った経験を糧に、当事業を立ち上げる決心をしました。



Profile

大卒後、臨床検査会社でウイルス抗原／遺伝子・細胞性免疫の検査・試験を担当。その後、医療機器会社で人工呼吸器の販売と在宅医療に従事。定年退職後に訪問看護事業所を運営したが、提携会社へ譲渡して、がんを含む多数の手術・治療に専念。現在、起業の準備中。

07

宇宙への夢と道を持たせるロケット事業

森田 泰弘 さん

■ プラン内容

私はJAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)でイプシロンなど固体ロケットの開発を行ってきましたが、いま宇宙開発の歴史を転換するような新技術を編み出しました。それは町工場でも簡単に作れる固体ロケット燃料LTPです。この技術のスピノフとして、宇宙の教育への応用を考えました。例えば、教育用のモデルロケットのエンジンは高価な輸入品に頼っていますが、これを国産化することで教育の振興に貢献できます。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

私には、ロケット開発を通して子供たちに夢を与えてきたという自負があります。これからは一歩踏み込んで、ロケット開発で得た技術と経験を生かして、青少年少女の理科教育に貢献したいと思っています。そして私には苦労を共にした仲間というかけがえのない応援団がたくさんいます。その協力を得れば事業の成功は間違いないと考え、起業を決意しました。



Profile

JAXA宇宙科学研究所教授。専門はロケット工学・誘導制御。東京大学工学部航空学科・同大学院工学系研究科(工学博士)。40年間固体燃料ロケットの研究開発に従事。M-Vロケットとイプシロンロケットの開発責任者を務め、はやぶさなどを打ち上げた。

08

ゲームチェンジを自らおこす!!

船橋 達治 さん

■ プラン内容

電気自動車向け充電器の導入を検討する際、電気や充電器の知識がなくても設置工事の概算費用を算出でき、誰でも最適な価格と内容で工事を依頼できるサービスを提供します。地図上に充電器をレイアウトし配線ルートを入力すると、概算費用と簡易配線図面が作成されるアプリ「DXレイアウト(仮称)」を開発。関係者が同じアプリを利用する事で効率的な打合わせが可能となります。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

新規で充電インフラ事業を進める中で、社内では軋轢が多少あったものの、発案した企画は実現できる環境にあり、会社に残るという選択肢もありました。しかし、定年という社会の仕組みが自分をダメにすると感じ、突然会社を辞め、やることも決まず東京に出てきたのが2022年の4月。会社とは切り離されて自由になった反面、「自分で何かを始めないと老いが迫ってくるのでは」と恐怖を感じるようになり、思い切って起業しました。



Profile

2021年まで在籍していた会社で、電気自動車向け充電インフラ事業に立上げ期から10年以上関わる。上京し、個人事業主となり、縁あってEV関連スタートアップの顧問を務めていたが、自分でも新しいビジネスを開始しよう決め、2022年9月にGC-PF株式会社を設立。

10人のファイナリストをご紹介します

第3回 東京シニアビジネスグランプリ

09

靴がワクワクする日常を連れてきた！

星川 彩子 さん

■ プラン内容

足元に不安を抱える高齢女性に、オシャレをして散歩を楽しむ「当たり前」の生活を「諦めない」を実現するため、靴を通してワクワクとした気持ちで日常生活を送り、家族も穏やかな喜びを感じるお手伝いをする事業です。介護シューズの転倒予防を配慮した機能と、サイズ、歩き方、好みの色やデザインなどを一緒に決めて、その方に合った靴を提案。靴はOEM製作します。家族とも共有し、QOLの向上を図ります。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

母親の介護施設入所の際に介護シューズが父と同じなのを残念に感じたことと、義肢装具製作の職業訓練校での歩行に関わる講義から、加齢により足元の不安を抱えている女性が好みの靴を履いて生活すると、身体的にも精神的にも良い影響を与えると着想しました。また、シニアスタートアッププログラムで事業計画を作成する機会もあり「やってみよう」と思い立ちました。私自身、人生100年時代に向け、今ワクワクした気持ちでいっぱいです！



Profile

専門商社で情報システム部門をはじめ主にスタッフ部門で30年以上勤務し、定年を前に退職。人生後半はモノづくりで世の中に貢献したいと考え、義肢装具製作の職業訓練や製靴など、モノづくり関連の講座を受講中。新しい知見や仲間を得て起業の準備を進めている。

10

ミドル世代男性へのニットジャケットD2C

市勢 善浩 さん

■ プラン内容

ミドル世代男性がターゲットの、格好良く見え、かつ動きやすい、編機でつくられたニットジャケットがメイン商材です。硬すぎず、砕けすぎない『スマートカジュアル』を提案します。顧客をSNSから自社ECサイトやクラウドファンディングに誘導し、高品質・納得価格のD2Cビジネスモデルを目指します。全て新潟県五泉市の協力工場による日本製で、本社所在地である荒川区の事業者との協業による付加価値の創出を行います。

■ シニアで起業しようと思ったきっかけ

60歳の定年を控え、生涯現役でありたいという自身の願望を達成するためには、今までの知識・経験を活かした創業しかないという結論に達し、2020年2月に57歳で退職しました。やるからには、サラリーマン時代にできなかった『顧客を決して裏切らない』、シーズン末のセールを行わないビジネスモデルを確立し、ひとりで運営できる仕組みをつくり、ターゲット顧客を自身に近いミドル世代男性にするという方針の元、創業に臨みました。



Profile

大学卒業後、アパレル企業勤務35年、内30年は婦人服商品企画に従事。退職後、ニット専門学校アパレルニットデザイン科修了。『日暮里ファッションデザインコンテスト2020』グランプリ受賞。(応募総数4,447点)
2021年3月 フェイバニッツ 合同会社設立、5月販売開始。

■ 基調講演

真山 仁 氏 小説家



「攻めのシニア起業術」

～“正しい”を疑え!混沌とした時代を戦略的に生きる方法～

1962年大阪府生まれ。1987年同志社大学法学部政治学科卒。同年4月中部読売新聞（現・読売新聞中部支社）入社。フリーライターを経て、2004年に企業買収の壮絶な舞台裏を描いた『ハゲタカ』でデビュー。作品の対象に迫る緻密な取材力には定評がある。中小・大手企業のビジネスパーソンなどに対する取材経験が豊富。

著書『ハゲタカ』（ダイヤモンド社／講談社文庫）、『ロッキード』（文藝春秋）、『墜落』（文藝春秋）、『“正しい”を疑え!』（岩波ジュニア新書）など多数。

■ 審査員 Profile

審査委員長



各務 茂夫 氏

東京大学 大学院工学系研究科 教授／
産学協創推進本部 副本部長／
日本ベンチャー学会 会長

一橋大学卒、スイスIMD経営学修士、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ボストンコンサルティンググループを経て、コーポレートディレクション（CDI）の設立に参画。2004年東京大学産学連携本部教授就任以来、大学発ベンチャー支援、アントレプレナーシップ教育等に取り組む。



山口 里美 氏

株式会社グランサクシード 代表取締役

行政書士法人みらいリレーション代表社員、一般社団法人日本リレーションサポート協会代表理事、グランサクシードグループ代表。1997年司法書士事務所、1999年行政書士事務所開業。資格者法人の経営に取り組みながら「人と事業のリレーション」に特化したシニアのためのサロン運営、応援事業を展開。年間講演は70回以上、著書・監修書は14冊。やまがた特命観光・つや姫大使。

高橋 ゆき 氏

株式会社ベアーズ 取締役副社長

家事代行サービスを中心に“暮らしの困ったを解決する”株式会社ベアーズの取締役副社長。自身の原体験をもとに“産業をつくろう”と夫婦で創業。社内では主にプランニング、マーケティング、アライアンス、DX推進担当役員。経営者と家事研究家のふたつの顔で講演、執筆、メディアでも幅広く活躍中。



小平 和良 氏

株式会社日経BP 日経トップリーダー 編集長

1997年早稲田大学第一文学部卒業。化学メーカー、通信社での勤務を経て2000年に日経BP入社。日経ビジネス編集部にて自動車業界や金融業界を担当。2006年に日本経済新聞社消費産業部に出向し、百貨店やスーパーなどを取材。2009年に日経BP社に復帰し、2012年から副編集長、2014年4月から2018年9月まで上海支局長。

■ 審査項目

1

経営理念・ビジョンの明確さ

2

ビジネスモデルの実現性・収益性

3

市場の理解度

4

計画の妥当性

5

プレゼンテーション力



藤見 佳奈枝 氏

株式会社日本政策金融公庫
国民生活事業本部 東京創業支援センター 所長

入庫以来、大手町支店（現東京支店）、名古屋中支店、本店創業支援部にて数多くの創業融資に携わる。その後、堺支店の融資課長を務め、地域の民間金融機関や支援機関と連携した協調融資等に取り組む。2021年3月、東京創業支援センター所長に就任。創業者向けのセミナーの企画・開催、シニア起業家やベンチャー企業への資金調達支援等を担当している。

第3回

東京シニアビジネスグランプリ FINAL ファイナル

次 第

【第1部：決勝大会・講演】

- 13:30 オープニング
13:35 審査員紹介
13:40 ファイナリスト紹介
ファイナリストプレゼンテーション（前半）
14:40 （休憩）
14:50 ファイナリストプレゼンテーション（後半）
15:50 （休憩）
16:00 基調講演「攻めのシニア起業術」
～“正しい”を疑え！混沌とした時代を戦略的に生きる方法～
小説家 真山 仁 氏
17:00 （休憩）

【第2部：表彰式】

- 17:10 表彰式
17:20 審査員講評
17:30 エンディング

イベント終了後、こちらのQRコードよりアンケートへのご協力をお願いします。



後 援（順不同）

独立行政法人中小企業基盤整備機構、東京商工会議所、東京信用保証協会、
一般社団法人東京都中小企業診断士協会、東京都立産業技術大学院大学、
株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ、株式会社きらぼし銀行、朝日信用金庫、
西武信用金庫、昭和信用金庫、城北信用金庫、多摩信用金庫、株式会社日本政策金融公庫、
東京中小企業投資育成株式会社

協 力（順不同）

株式会社ファーストブランド、大和企業投資株式会社

お問い合わせ先

第3回 東京シニアビジネスグランプリ事務局（受託事業者：株式会社アイフィス）
TEL: 03-5395-1202 mail: seniorgp@ifys.jp